

▲プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社

トヨタとパナソニックが共同出資する車載用バッテリーの会社 ——先進バッテリーの力でかけがえのない地球に豊かな未来をもたらす

ここに注目!

SDGs や脱炭素という世界的な流れの中で急拡大する車載用電池市場
生産ラインのスピーディな立上げを実現する「人の力」と「DX技術」

プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社は、2020年にトヨタ自動車株式会社とパナソニック株式会社が共同出資して設立された車載用電池メーカー。トヨタが51%、パナソニックが49%をそれぞれ出資し、自動車をはじめとする車載用の角形リチウムイオン二次電池を開発・製造・販売する。両社出身の電池のプロが大勢活躍するとともに、新たに入社した各分野のエキスパートメンバーたちが一緒になってNo.1電池を目指して日々挑戦している。

同社には世界の幅広いカーメーカーの電動化に貢献し、地球環境

問題の解決に寄与したいという想いがある。そして何よりも、自分たちの手で豊かでクリーンな社会に向けて時代を切り拓いていく、その仕事にはきっと想像もできない喜びや感動が待っているのだろう。

「我々がやっているのは電池だが、電動車を作り上げることそのものだ」（蜂須賀一郎チーフテクノロジーオフィサー）という意識だ。20年以上の実績を誇るパナソニックの車載電池と、トヨタの電動車の歴史。電池をつくってきた会社と、電池を内製していた車の会社がちりと組んで事業を展開する例は少ないだけに、両

社の関連部署が手を組んで安全、品質、性能を追求していることは他にはない大きな強みといえる。

新規生産ラインの立上げ

世界各国の環境規制やカーボンニュートラル宣言を背景に電動車市場は2030年には約5倍、電池としては数十倍規模への拡大が見込まれる。電動車の心臓部ともいえる安心・安全・高品質・高性能な電池をタイムリーかつ安定的に供給することがより一層求められている。

電池の生産は高速かつ多くの加工を経て行われるため、新たなラインの計画時には実際にモノが作れるかの成立性の確認作業が非常に困難だ。そこでDX技術を駆使して新規ラインをデジタル上に再現し、生産性シミュレーションやVRでの作業性確認など、実機を造る前に検討しきることで、短期立上げの実現に挑んでいる。

この技術は新規ラインの立上げだけでなく、既設生産ラインのレベルアップや作業者訓練にも活かされている。最新のAR技術では、作業指示を現実空間に投影し、不慣れな人でも確実に作業内容を確認しながら作業することが可能だ。

これからも『かけが



働きやすい環境作り（工場内は安全・快適な環境）



地域貢献活動（理系女子学生向けのイベント）



新入社員研修

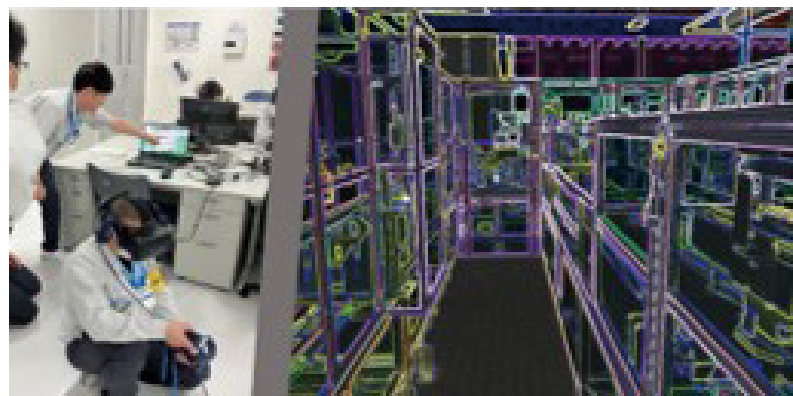
えのない地球に豊かな未来を。」を合言葉に最新の技術で電動車市場を支える。同社では持続可能な社会の実現のため、環境へ配慮したモノづくりも進めているという。

人材育成がモノづくりの基盤

事業の急成長が見込まれるだけに採用拡大は急務。だが、人を中心とした経営についてはトヨタやパナソニックの精神を受け継ぐ。「モノづくりは人づくり。モノを作る前に人をつくる。人が育ってこそ技能・技術は磨かれるもの」と蜂須賀氏は強調する。新入社員

には、集合研修で社会人の基礎と会社の価値観や仕事の流れを教え込む。他にも、トヨタ生産方式や問題解決手法について学ぶ機会や実際に電池をつくるカリキュラムも用意する。その後は製造現場で交替制勤務も体験するという。職場では若手がものを言える風土を大切にする。トップ自ら現場に赴いてコミュニケーションを図るなど、ワイワイ、ガヤガヤ言い合える環境を整え、コミュニケーションのとりやすい組織にしているのも特徴だ。技術系でもケミカル分野にとどまらず、機械構造、電気・電子制御システム、生産プロセス等、幅広い技術分野の人が活

躍している。電池の様々な可能性の実現を通じて社会に貢献するには、幅広い視野や知識を持つ人材が必要だ。先進バッテリーの力で、かけがえのない地球、クリーンで豊かな社会を実現させていくという思いを込めた社名。これを担う人材の確保と育成は今後の成長のカギとなるだろう。社内だけではなく、地元小学校での出前授業や理系女子学生向けの電池授業、工場見学会等を積極的に行い、将来を担う人材に地球環境や企業の取り組みを知ってもらふ活動を行っている。こういった活動こそが地域への恩返しにもなるという考えだ。



VRによる新規設備・ラインの設計確認



ARによる操作トレーニング



VRによる作業性、安全性の事前確認

わが社を語る

代表取締役社長
好田 博昭氏



組織を超えたコミュニケーション文化の醸成

当社はトヨタ自動車とパナソニックという長い歴史を持つ事業母体がある一方で、新しい会社ならではの新しい企業文化を創造する醍醐味があります。働きやすい職場環境にしていくためには上司から部下へ一方通行のやりとりではなく、「双方の対話やメンバーからの提言・改善提案、職場を越えたコミュニケーションをとっていくこと」が重要だと考えます。

そこで、従業員の皆さんの課題認識、悩みや改善提案を私に直接話してもらおうダイレクトコミュニケーションの場を2020年より継続実施しています（2022年度は39回実施）。メンバー同士の気づきも含め、会社を良くする原動力にしていきたいと考えています。

会社 DATA

所在地：東京本社 東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー13階
関西本社 兵庫県加西市鎮岩町194-4
国内各所（神戸、姫路ほか）、中国に拠点

操業開始：2020（令和2）年4月

代表者：好田 博昭

従業員数：約8,400名（海外子会社含む、2023年4月現在）

事業内容：車載用高容量/高出力角形電池の開発・製造・販売、車載用次世代電池の開発・製造・販売

URL：https://www.p2enesol.com/

